

平成 18 年 11 月 20 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号  
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 雅之

(コード番号：8981)

投資信託委託業者名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 雅之

問合せ先 取締役・管理本部長

鈴木 博之

TEL. 03-6439-0333

### 2006 年 10 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2006 年 10 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

#### 記

項目/年月	客室稼働率 (%)	ADR(円)	RevPAR(円)	売上高(百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	88.2%	14,851	13,106	680
新浦安オリエンタルホテル	95.3%	18,980	18,091	622
なんばオリエンタルホテル	87.5%	10,010	8,759	161
ホテル日航アリビラ	91.0%	18,483	16,817	453

2006 年 10 月売上に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（運用会社）からのコメント：

#### 神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門については、国体の開催期間と重なった事もあり関西エリアの好調なマーケット状況に牽引される形で、稼働率・ADR 共に前年同月を上まわりました。また、6 月～7 月に実施した改装後の客室においては、稼働率・ADR 共に好調に推移しています。

レストラン部門においては、宿泊部門の好調さを受けて、前年同月比売上げを伸ばしています。

前年度から引き続き課題となっている婚礼部門の件数の減少が、当月の総売上げの減少に影響していますが、2007 年 1 月からの予約状況は回復基調にあります。

#### 新浦安オリエンタルホテルについて

宿泊部門は稼働率・ADR共に前年同月を上回りました。10月は行楽シーズンであり、例年は修学旅行生の宿泊客が稼働率を上昇させる傾向があったものの、今年度は旅行代理店経由及び直予約の個人客が増加した事により稼働率が伸びています。また、2005年に改装を行ったベビーズスイートが他のタイプの

客室に比べ稼働率・ADR共に上回ったことも前年を上回る要因であったと思われます。  
また、レストラン部門の売上も対前年比で増加しており、引き続き好調に推移しています。

#### なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門について、稼働率が前年同月比大幅に改善していますが、これは、前年の稼働率が一次的に落ち込んだ事と、全体的に大阪マーケットが好調に推移している事に起因しています。また、レベニューマネージメントによる価格コントロールが功を奏し、ADRを大幅にアップさせる事に成功しています。

総売上高では、前年同月比、若干の上昇に終わっていますが、これは本年1月の地下1階のテナント退去によるテナント収入減少を相殺しての結果となっています。

#### ホテル日航アリビラについて

稼働率は前年同月比ほぼ横ばいとなっていますが、ADRについては対前年比プラスになっています。今後も引き続き、ホテルライフを満喫する良質な客層の獲得を目指す事で、宿泊・料飲部門共に単価のアップを目指しています。

---

注1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注3) ADR：平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

注4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。

注5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

\*本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.com/>